

※総務省記者クラブ、全国知事会都
道府県記者クラブ

第17回日中韓3か国地方政府交流会議を開催します

平成27年10月12日(月・祝)から15日(木)にかけて、中国・浙江省義烏市において、「第17回日中韓3か国地方政府交流会議」を下記のとおり開催いたします。

この会議は、日本、中国、韓国の3か国の地方政府間の国際交流・協力をより一層促進することなどを目的に、3か国持ち回りで毎年開催しているものです。

今回は、「持続可能な都市間交流及び都市の国際化による発展」をメインテーマに、3か国の地方政府関係者が一堂に会し、基調講演や事例発表などを行います。

記

1 期間

平成27年10月12日(月・祝)～15日(木)

2 会場

中国・義烏幸福湖国際会議センター(浙江省義烏市後宅街道幸福湖路)ほか

3 参加者数(予定)

約380名(日本:約60名、中国:約250名、韓国:約70名の地方政府関係者)

4 各国代表参加者

日本:一般財団法人自治体国際化協会 理事長 岡本 保

中国:人民対外友好協会 会長 李小林(リー・シャオリン/li xi ā o lín)

韓国:全国市道知事協議会 事務総長 朴成煥(パク・ソンファン)

5 テーマ

メインテーマ:持続可能な都市間交流及び都市の国際化による発展

サブテーマ:①地方政府の役割強化による地元中小企業競争力向上への取り組み

②人的往来拡大による中日韓観光と文化交流の促進

6 主催

中国人民対外友好協会(後援:浙江省人民対外友好協会、実施:義烏市人民政府)

7 協力

一般財団法人自治体国際化協会、韓国全国市道知事協議会

【問合せ先】

一般財団法人自治体国際化協会

交流支援部交流親善課 鎌形課長、横地主査

電話:03-5213-1723(直通)

ファクシミリ:03-5213-1742

【参考1】会議日程

期日	時間	内容
10月13日 (火)	09:00-09:40	開会挨拶
	09:40-10:20	基調講演 (中国・学識者1名)
	10:30-11:45	主旨講演 (各国1名) メインテーマ「持続可能な都市間交流及び都市の国際化による発展」 日本側発表者：静岡県副知事 大須賀淑郎 氏
	12:00-13:30	中国人民対外友好協会主催昼食会
	14:00-15:30	パネルディスカッション (各国2名) サブテーマ①「地方政府の役割強化による地元中小企業競争力向上への取り組み」 日本側発表者：大分市副市長 右田芳明 氏 佐賀県国際・観光部副部長 村山仁志 氏
	15:40-17:10	パネルディスカッション (各国2名) サブテーマ②「人的往来拡大による中日韓観光と文化交流の促進」 日本側発表者：舞鶴市市長 多々見良三 氏 香川県交流推進部理事兼次長 山本 泰 氏
	17:10-18:00	義烏市貿易プロモーション (物産、広報PR)
	18:30-20:00	閉会式及び閉会レセプション、 次期開催地紹介：岡山市副市長 繁定昭男 氏

【参考2】日中韓3か国地方政府交流会議について

本会議は、韓国地方自治団体国際化財団（2010年1月に韓国全国市道知事協議会へ移管）の提案により、平成11（1999）年度から、歴史的・地理的に密接な関係にある日本、中国及び韓国の3か国の国際交流団体間の協力関係の強化を図るとともに、3か国の地方自治体間の国際交流・協力を更に一層促進することを目的に、自治体国際化協会、中国人民対外友好協会、韓国全国市道知事協議会の共同事業として3か国輪番制で開催している。

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
1999年(韓国) ソウル特別市	2000年(中国) 北京市	2001年(日本) 東京都	2002年(韓国) ソウル特別市	2003年(中国) 無錫市	2004年(日本) 新潟県
第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
2005年(韓国) 江原道	2006年(中国) ハルビン市	2007年(日本) 奈良県	2008年(韓国) 全羅南道	2009年(中国) 長春市	2010年(日本) 長崎県
第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回
2011年(韓国) 全羅北道	2012年(中国) 昆明市	2013年(日本) 富山県	2014年(韓国) 亀尾市	2015年(中国) 義烏市	2016年(日本) 岡山市

【参考3】義烏市について

中国浙江省金華市に位置する県級市。上海市から南西へ300km、杭州市から南へ100kmほど内陸に入ったところにあり、山に囲まれた金衢盆地^{きんく}の東縁に位置する。面積が1105km²、人口は約90万人。古くから農業が発達し、水稻、サトウキビなどが栽培されている。世界3大ハムの1つの金華ハムの産地でもある。

近年は2002年に開業した義烏国際商貿城（福田市場）、中国小商品城、賓王市場の三つの大規模な日用品卸売市場が立地し、中国東部最大の物流基地となった。世界中のバイヤーも多く訪れ、日本の100円ショップ等の商品のうち、中国産のものは多くがここを通して流通している。現在は世界的な日用品取引の中心地である。